

日田市自治基本条例

自治基本条例に対する

意見と対応について (案)

日田市自治基本条例見直し検討委員会

自治基本条例に対する意見と対応について（案）

－ 日田市自治基本条例 －

No.	意見の項目	検討の対象とした理由	提言にあたっての対応等（案）
1	自治基本条例の市民への浸透活動 (関係条項なし)	自治基本条例の市民への浸透は十分とは言えないと考える。市民参画と協働によるまちづくりを推進するためには、条例そのものの周知に限らず、趣旨を浸透させる必要がある。	【提言】 自治基本条例の市民への浸透を目的として、更なる取組の充実を求める。
2	地域の自主性を尊重した人づくり、リーダーづくりの取組 (第7条関係)	自治基本条例の趣旨を浸透させるためには、実際に地域を良くするために行動してもらうことが大事であると考え。地域のまちづくり活動をけん引していく人づくりが重要である。	【提言】 地域の自主性を尊重した人づくり、リーダーづくりの取組を求める。
3	子供、若者、次世代を担う人たちの市民参画の場への参加 (第8条関係)	若い世代に対して、日田市のまちづくりの根幹を作っていく場面に参加できることを訴えかけていくことが重要であると考え。就職を機に日田市を離れていく若い世代が魅力を感じる町にしていくため、意見交換の場づくりが必要である。	【提言】 次世代を担う人たちの市民参画の場への参加が進む仕組みづくりを求める。 【想定される対応】 若い世代が参加しやすくなるようオンライン方式の開催を行う。
4	地域団体等の担い手不足対策の検討 (第7条関係)	自治基本条例の趣旨を実行していく地域団体については、担い手不足が進行していると考え。市全体で人口減少が進んでおり、何らかの対策を検討する必要がある。	【提言】 地域団体等の担い手不足対策の検討を求める。
5	市民参画を進めるための多様な開催方法の検討 (第21条関係)	新型コロナウイルス感染症の影響で対面方式による会合等の市民参画が難しい状況であると考え。子育て世代の方も参加しやすくなるよう、開催時間帯や対面方式以外の開催方法の検討が必要である。	【提言】 市民参画を進めるための多様な開催方法の検討を求める。 【想定される対応】 土日祝日開催、平日夜間の開催、オンライン方式の開催を行う。

No.	意見の項目	検討の対象とした理由	提言にあたっての対応等（案）
6	<p>地域コミュニティの見直し</p> <p>（第7条関係）</p>	<p>自治会を中心とした地域の繋がりは、災害発生時でも重要なものである。一方で、本市に移住してきた方の中には、地域に入りづらい状況も見受けられるものの、そのような移住者にも最終的には地域に協力、自治会に加入してもらうことが望ましいと考える。加入の一手前という考え方として、自治会の会合に直接参加出来なくてもオンラインで参加できるような多様化した考え方が必要である。</p>	<p><u>【条例逐条解説の見直し】</u></p> <p>【提言】 地域コミュニティの活動を円滑に進めるため、多様な参加機会の確保に繋がる取組を求める。</p> <p>【想定される対応】 多様な参加機会の確保として、地域の会合にオンラインでも参加できるなど、地域の活動に参加しやすい雰囲気作りに努める趣旨を条例逐条解説に追加する。</p>
7	<p>社会を取り巻く背景を踏まえた条例の見直し</p> <p>（第29条関係）</p>	<p>自治基本条例づくりの取組を始めた12年前には「条例見直し検討委員会」等の会議がオンラインで開催されることは想定されていなかったと考える。このような時代の変化を踏まえた条例の見直しをしていくことが重要である。</p>	<p>【提言】 社会を取り巻く背景を踏まえた条例の見直しを求める。</p>